

# 授業概要（シラバス）

<作業療法学科 4学年>

2024年度

学校法人 君津あすなろ学園  
千葉医療福祉専門学校

## 2024年度 作業療法学科 開講科目一覧

1学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	心理学	通年	2	60
	情報コミュニケーション学Ⅰ	前期	1	30
	情報コミュニケーション学Ⅱ	後期	1	30
	情報コミュニケーション学Ⅲ	前期	1	15
	基礎数理学	通年	2	30
	健康と身体	通年	1	30
	社会福祉概論	後期	1	30
	医学用語	通年	1	30
	公衆衛生学	後期	1	15
	総合演習Ⅰ	通年	1	30
専門基礎分野	人体の構造Ⅰ	前期	1	30
	人体の構造Ⅱ	後期	1	30
	人体の構造Ⅲ	前期	1	30
	人体の構造Ⅳ	後期	1	30
	人体の機能Ⅰ	前期	1	30
	人体の機能Ⅱ	後期	1	30
	運動学Ⅰ	後期	1	30
	リハビリテーション医学Ⅰ	後期	2	30
	病理学	後期	1	15
	救急救命法	通年	1	30
専門分野	リハビリテーション概論Ⅰ	通年	2	60
	作業療法概論	通年	2	60
	基礎作業学	通年	2	60
	地域リハビリテーション	後期	1	15
	職業リハビリテーション	通年	1	15
見学実習		通年	1	45
26科目		32単位		

2学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	人間発達学	前期	1	30
	総合演習Ⅱ	通年	1	30
専門基礎分野	人体の構造実習	通年	1	30
	人体の機能実習	前期	1	30
	運動学Ⅱ	前期	1	30
	運動学Ⅲ	後期	1	30
	運動学実習	後期	1	30
	運動生理学	前期	1	15
	リハビリテーション医学Ⅱ	後期	1	15
	内科学	通年	2	60
	運動器病態学	通年	2	60
	臨床神経学	前期	2	60
専門分野	精神医学	通年	2	60
	臨床心理学	前期	1	30
	リハビリテーション概論Ⅱ	通年	2	60
	作業療法評価学Ⅰ	前期	1	30
	作業療法評価学Ⅱ	後期	1	30
	作業療法評価学Ⅲ	後期	1	30
	作業療法評価学Ⅳ	前期	1	15
	作業療法評価学実習Ⅰ	前期	1	30
その他	作業療法評価学実習Ⅱ	後期	1	30
	作業療法評価学実習Ⅲ	後期	1	30
	発達領域作業療法学Ⅰ	前期	1	20
	日常生活関連活動学	通年	3	60
	生活支援環境学	後期	1	15
地域リハビリテーション実習		後期	1	45
地域リハビリテーション実習演習		後期	1	15
27科目		34単位		

3学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	総合演習Ⅲ	通年	1	30
専門基礎分野	リハビリテーション医学Ⅲ	通年	2	30
専門分野	作業分析	通年	2	60
	作業療法研究法	後期	1	15
	作業療法管理学	前期	2	30
	発達領域作業療法学Ⅱ	通年	2	40
	整形疾患作業療法学	通年	3	60
	精神疾患作業療法学	通年	3	60
	老年期疾患作業療法学	通年	3	60
	中枢神経疾患作業療法学	通年	3	60
	作業療法技術論	通年	1	30
	義肢装具学	後期	2	30
その他	地域作業療法学	通年	2	30
	臨床評価実習	通年	9	360
臨床評価実習演習Ⅰ		通年	1	30
臨床評価実習演習Ⅱ		通年	1	30
16科目		38単位		

4学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
専門分野	臨床総合実習	前期	17	680
	臨床総合実習演習	通年	1	30
	総合演習Ⅳ	通年	5	175
	卒業研究	通年	2	60
4科目		25単位		

OT4年 前期		講義概要	一般目標
専門分野	臨床総合実習	臨床現場において、実習指導者の指導のもとに個別に学習を行う。  臨地実習:320時間×2=640時間 OSCE他:1.5時間×27コマ=40.5時間	臨床実習指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する患者に対して作業療法士としての ①倫理観や基本的態度を身につける ②許容される臨床技能を実践できる ③臨床実習指導者の作業療法の思考過程を説明し、作業療法の計画立案ができる
17単位	680時間		
作業療法学科:金谷優志			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
	臨床総合実習 I (臨地実習)	臨床総合実習 I 期 8週間 40時間×8=320時間	
	臨床総合実習 II (臨地実習)	臨床総合実習 II 期 8週間 40時間×8=320時間	
1	実習課題確認等①	臨床総合実習 I 実習課題点検、実習地お礼状作成	
2	実習課題確認等②	臨床総合実習 I 実習課題点検、実習地お礼状作成	
3	実習課題確認等③	臨床総合実習 II 実習課題点検、実習地お礼状作成	
4	実習課題確認等④	臨床総合実習 II 実習課題点検、実習地お礼状作成	
5	実習前課題確認	臨床総合実習 II 実習前オリエンテーション	
6	実習後教員面談① 総合実習 I	実習の振り返りを教員と行う	
7	実習後教員面談① 総合実習 I	実習の振り返りを教員と行う	
8	実習報告会資料作成①	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
9	実習報告会資料作成②	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
10	実習報告会資料作成③	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
11	実習報告会資料作成④	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
12	実習報告会資料作成⑤	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
13	実習報告会資料作成⑤	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
教科書・参考書・資料			
判定基準/割合		履修上の留意点	
平常点:100点 出席(日数の3/4以上), 基本的態度 提出物内容・実習遂行状況 実習要項等による総合判定			

OT4年 前期		講義概要	一般目標
専門分野	臨床実習	臨床現場において、実習指導者の指導のもとに個別に学習を行う。 臨地実習:320時間×2=640時間 OSCE他:1.5時間×27コマ=40.5時間	臨床実習指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する患者に対して作業療法士としての ①倫理観や基本的态度を身につける ②許容される臨床技能を実践できる ③臨床実習指導者の作業療法の思考過程を説明し、作業療法の計画立案がされること
17単位	680時間		
作業療法学科:金谷優志			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
14	OSCEⅢ オリエンテーション	OSCEⅢのオリエンテーション、患者情報共有	
15	OSCEⅢ 患者情報～評価計画立案	患者情報から評価計画を立案する	
16	OSCEⅢ 評価結果～OTプログラム立案	評価結果よりOTプログラム立案する	
17	OSCEⅢ 練習①	OSCEⅢ 練習	
18	OSCEⅢ 練習②	OSCEⅢ 練習	
19	OSCEⅢ 練習③	OSCEⅢ 練習	
20	OSCEⅢ 実施①	OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
21	OSCEⅢ 実施②	OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
22	OSCEⅢ 実施③	OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
23	OSCEⅢ 実施④	OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
24	OSCEⅢ FB 振り返り	OSCEⅢ FB 振り返り	
25	OSCEⅡ 模擬患者練習	OSCEⅡ模擬患者練習	
26	OSCEⅡ 模擬患者	OSCEⅡ模擬患者として参加し、疾患・障害の理解を深める 後輩に助言する	
27	OSCEⅡ 模擬患者	OSCEⅡ模擬患者として参加し、疾患・障害の理解を深める 後輩に助言する	
教科書・参考書・資料			

判定基準／割合	履修上の留意点
平常点:100点 出席(日数の3/4以上), 基本的态度 提出物内容・実習遂行状況 実習要項等による総合判定	

OT4年 通年		講義概要	一般目標		
その他		実習過程を経て完成させた症例報告書の発表とディスカッションを実施。 実習経験を振り返り、実践を再考し、成果を共有する。	①臨床実習の場で学んだことを、症例を通じて伝えることができる。 ②コミュニケーション能力や、経験を共有する力を培う。		
臨床総合実習演習 (※実習後セミナー)					
1単位	30時間				
作業療法学科:金谷優志					
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標			
1	総合実習Ⅰ 実習後ホームルーム ①				
2	総合実習Ⅰ 実習後ホームルーム ②				
3	実習報告会 総合実習Ⅰ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
4	実習報告会 総合実習Ⅰ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
5	実習報告会 総合実習Ⅰ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
6	実習報告会 総合実習Ⅰ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
7	実習報告会 総合実習Ⅰ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
8	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
9	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
10	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
11	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
12	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
13	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
14	実習報告会 総合実習Ⅱ	実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション			
15	実習報告会 まとめ	実習体験報告 まとめ総括			
教科書・参考書・資料					
判定基準/割合		履修上の留意点			
平常点:100点 実習報告の発表内容を評定する		欠席せずに出席するようにしてください。			

OT4年 通年		講義概要	一般目標		
その他		作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。			
総合演習IV (※ 国家試験対策)		設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みをを実施できる。			
5単位	150時間 88回				
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員					
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標			
1	校内模試①	6月上旬 実習明け実力チェック 100問 目安56点以上(40%以上)			
2	校内模試①	6月上旬 実習明け実力チェック 100問 目安56点以上(40%以上)			
3	校内模試②	8月末 国試過去問 200問 目安140点以上(50%以上) 国試対策本格的スタート!			
4	校内模試②	8月末 国試過去問 200問 目安140点以上(50%以上) 国試対策本格的スタート!			
5	校内模試②	8月末 国試過去問 200問 目安140点以上(50%以上) 国試対策本格的スタート!			
6	校内模試②	8月末 国試過去問 200問 目安140点以上(50%以上) 国試対策本格的スタート!			
7	国試対策について	国試対策全体像 過去のデータを確認しよう!			
8	国試対策について	国試対策スケジュール 目標共有			
9	国試対策 基礎強化【兼子】	9月上旬 常勤教員による基礎強化介入			
10	国試対策 基礎強化【金谷】	9月上旬 常勤教員による基礎強化介入			
11	国試対策 基礎強化【武井】	9月上旬 常勤教員による基礎強化介入			
12	国試対策 基礎強化【早川】	9月上旬 常勤教員による基礎強化介入			
13	国試対策 基礎強化【原】	9月上旬 常勤教員による基礎強化介入			
14	国試対策 基礎強化【隈部】	9月上旬 常勤教員による基礎強化介入			
15	校内模試③	9月下旬 国試過去問 200問 目安185点以上(66%以上) 国試過去問では合格点を超える!			
教科書・参考書・資料					
・クエスチョンバンク2024共通問題 　・クエスチョンバンク2024専門問題 その他					
判定基準／割合	履修上の留意点				
要点:80点(模試、卒業試験などの成績) 平常点:20点(取り組み)	★ 翌日には74%を忘れてしまう~エビングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒"アウトプット重視" ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!				

OT4年 通年		講義概要	一般目標			
その他		作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。  総合演習IV (※ 国家試験対策) 5単位 150時間 88回  作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みを実施できる。			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標				
16	校内模試③	9月下旬 国試過去問 200問 目安185点以上(66%以上) 国試過去問では合格点を超える!				
17	校内模試③	9月下旬 国試過去問 200問 目安185点以上(66%以上) 国試過去問では合格点を超える!				
18	校内模試③	9月下旬 国試過去問 200問 目安185点以上(66%以上) 国試過去問では合格点を超える!				
19	校内模試④	10月中旬 国試過去問 200問 目安195点以上(69%以上) 国試過去問では7割取れる!				
20	校内模試④	10月中旬 国試過去問 200問 目安195点以上(69%以上) 国試過去問では7割取れる!				
21	校内模試④	10月中旬 国試過去問 200問 目安195点以上(69%以上) 国試過去問では7割取れる!				
22	校内模試④	10月中旬 国試過去問 200問 目安195点以上(69%以上) 国試過去問では7割取れる!				
23	校内模試⑤	10月下旬 業者ライセンス模試 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
24	校内模試⑤	10月下旬 業者ライセンス模試 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
25	校内模試⑤	10月下旬 業者ライセンス模試 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
26	校内模試⑤	10月下旬 業者ライセンス模試 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
27	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入				
28	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入				
29	国試対策 基礎・弱点強化【武井】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入				
30	国試対策 基礎・弱点強化【早川】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入				
教科書・参考書・資料						
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他						
判定基準／割合		履修上の留意点				
要点:80点(模試、卒業試験などの成績) 平常点:20点(取り組み)		★ 翌日には74%を忘れてしまう~エピングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒"アウトプット重視" ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!				

OT4年 通年		講義概要	一般目標			
その他		作業療法国家試験における日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。  総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策) 5単位 150時間 88回  作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みを実施できる。			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標				
31	国試対策 基礎・弱点強化【原】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入				
32	国試対策 基礎・弱点強化【限部】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入				
33	医歯薬①	11月下旬 卒業試験 出願判定試験 基準偏差値37以上(上位90%) 医歯薬模試① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
34	医歯薬①	11月下旬 卒業試験 出願判定試験 基準偏差値37以上(上位90%) 医歯薬模試① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
35	医歯薬①	11月下旬 卒業試験 出願判定試験 基準偏差値37以上(上位90%) 医歯薬模試① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
36	医歯薬①	11月下旬 卒業試験 出願判定試験 基準偏差値37以上(上位90%) 医歯薬模試① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点はクリアしよう!				
37	アイペック①	11月下旬 アイペック① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点をクリアしよう!				
38	アイペック①	11月下旬 アイペック① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点をクリアしよう!				
39	アイペック①	11月下旬 アイペック① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点をクリアしよう!				
40	アイペック①	11月下旬 アイペック① 200問 目安167点以上(60%以上) 合格点をクリアしよう!				
41	国試対策	11月下旬 9月～11月の国試対策の振り返りと課題確認 対応策検討				
42	願書記入	12月上旬 国家試験願書作成				
43	校内模試⑥	12月上旬 医歯薬プレテスト 200問 目安178点以上(64%) 基礎・共通65点以上!				
44	校内模試⑥	12月上旬 医歯薬プレテスト 200問 目安178点以上(64%) 基礎・共通65点以上!				
45	校内模試⑥	12月上旬 医歯薬プレテスト 200問 目安178点以上(64%) 基礎・共通65点以上!				
教科書・参考書・資料						
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他						
判定基準／割合		履修上の留意点				
要点:80点(模試、卒業試験などの成績) 平常点:20点(取り組み)		★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒「アウトプット重視」 ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!				

OT4年 通年		講義概要	一般目標			
その他		作業療法国家試験における日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。  総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策) 5単位 150時間 88回  作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みを実施できる。			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標				
46	校内模試⑥	12月上旬 医歯薬プレテスト 200問 目安178点以上(64%) 基礎・共通65点以上!				
47	アイペック②	12月中旬 アイペック2 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上				
48	アイペック②	12月中旬 アイペック2 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上				
49	アイペック②	12月中旬 アイペック2 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上				
50	アイペック②	12月中旬 アイペック2 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上				
51	医歯薬②	12月下旬 医歯薬模試② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
52	医歯薬②	12月下旬 医歯薬模試② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
53	医歯薬②	12月下旬 医歯薬模試② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
54	医歯薬②	12月下旬 医歯薬模試② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
55	アイペック②	1月上旬 アイペック② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
56	アイペック②	1月上旬 アイペック② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
57	アイペック②	1月上旬 アイペック② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
58	アイペック②	1月上旬 アイペック② 200問 目安185点以上(66%以上) 基礎・共通65-70点				
59	校内模試⑦	1月上旬 三輪プレ模試 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上				
60	校内模試⑦	1月上旬 三輪プレ模試 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上				
教科書・参考書・資料						
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他						
判定基準／割合		履修上の留意点				
要点:80点(模試、卒業試験などの成績) 平常点:20点(取り組み)		★ 翌日には74%を忘れてしまう~エピングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒”アウトプット重視” ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!				

OT4年 通年		講義概要	一般目標		
その他	総合演習IV (※ 国家試験対策)	作業療法国家試験における日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みを実施できる。		
5単位	150時間 88回				
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員					
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標			
61	校内模試⑦	1月上旬 三輪プレ模試 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上			
62	校内模試⑦	1月上旬 三輪プレ模試 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上			
63	三輪模試 冬	1月上旬 三輪模試 冬 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上			
64	三輪模試 冬	1月上旬 三輪模試 冬 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上			
65	三輪模試 冬	1月上旬 三輪模試 冬 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上			
66	三輪模試 冬	1月上旬 三輪模試 冬 200問 目安178点以上(64%以上) 基礎・共通65点以上			
67	医歯薬③	1月中旬 医歯薬③ 200問 目安200点以上(71%以上) 基礎・共通70点以上			
68	医歯薬③	1月中旬 医歯薬③ 200問 目安200点以上(71%以上) 基礎・共通70点以上			
69	医歯薬③	1月中旬 医歯薬③ 200問 目安200点以上(71%以上) 基礎・共通70点以上			
70	医歯薬③	1月中旬 医歯薬③ 200問 目安200点以上(71%以上) 基礎・共通70点以上			
71	国試対策 弱点強化【兼子】	1月中旬～下旬 常勤教員による学生の弱点強化介入			
72	国試対策 弱点強化【金谷】	1月中旬～下旬 常勤教員による学生の弱点強化介入			
73	国試対策 弱点強化【武井】	1月中旬～下旬 常勤教員による学生の弱点強化介入			
74	国試対策 弱点強化【早川】	1月中旬～下旬 常勤教員による学生の弱点強化介入			
75	国試対策 弱点強化【原】	1月中旬～下旬 常勤教員による学生の弱点強化介入			
教科書・参考書・資料					
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他					
判定基準／割合	履修上の留意点				
要点:80点(模試、卒業試験などの成績) 平常点:20点(取り組み)	★ 翌日には74%を忘れてしまう～エピングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒"アウトプット重視" ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!				

OT4年 通年		講義概要	一般目標
その他	総合演習IV (※ 国家試験対策)	作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みを実施できる。
5単位	150時間 88回		
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
76	国試対策 弱点強化【限部】	1月中旬～下旬 常勤教員による学生の弱点強化介入	
77	校内模試⑧	1月下旬 実地問題プレ模試 50問 目安35-40点以上	
78	校内模試⑨	1月下旬 実地問題プレ模試 50問 目安35-40点以上	
79	医歯薬 実地問題模試	1月下旬 実地問題模試 50問 目安35-40点以上	
80	医歯薬 実地問題模試	1月下旬 実地問題模試 50問 目安35-40点以上	
81	アイペック④	2月上旬 アイペック④ 200問 目安210点以上(75%以上)	
82	アイペック④	2月上旬 アイペック④ 200問 目安210点以上(75%以上)	
83	アイペック④	2月上旬 アイペック④ 200問 目安210点以上(75%以上)	
84	アイペック④	2月上旬 アイペック④ 200問 目安210点以上(75%以上)	
85	国試直前模試①	2月上旬 国試直前模試① 100問 目安225点以上(80%以上)	
86	国試直前模試①	2月上旬 国試直前模試① 100問 目安225点以上(80%以上)	
87	国試直前模試②	2月上旬 国試直前模試② 100問 目安225点以上(80%以上)	
88	国試直前模試②	2月上旬 国試直前模試② 100問 目安225点以上(80%以上)	
		教科書・参考書・資料	
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他			

判定基準/割合	履修上の留意点
要点:80点(模試、卒業試験などの成績) 平常点:20点(取り組み)	★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒「アウトプット重視」 ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!

OT4年 通年		講義概要	一般目標		
その他		卒業研究を行い、論文を作成する。	3年次に身に付けた研究法の知識を活用し、研究方法を修得する。		
卒業研究 (※選択科目)					
2単位	60時間				
作業療法学科教員					
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標			
1	学生からの相談受付	1~5回 研究テーマを教員と相談し、方向性を確認する。			
2	研究テーマの仮決定	5~6回 研究テーマを仮決定し、計画書の作成を行う。			
3	担当教員の決定	7~10回 研究テーマに沿った教員に依頼、計画書の確認を行う。			
4	卒業研究開始	10~25回 文献取集、研究を開始する。			
5	卒業研究論文提出および発表会	25~30回 各学生が研究内容を発表する。			
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
教科書・参考書・資料					

臨床実習ヒケーススタディ 市川和子編 医学書院

判定基準／割合	履修上の留意点
研究発表、研究内容にて判定する。	3年次に修得した研究法の知識をしっかりと復習し、卒後研究に励んでください。